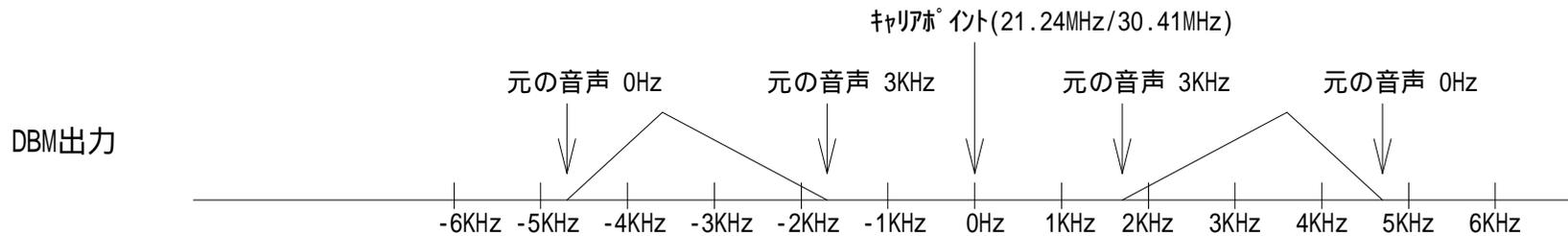
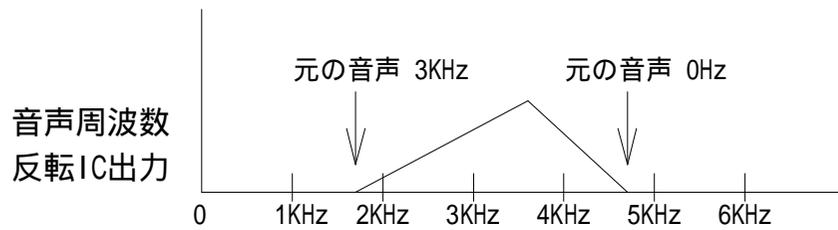
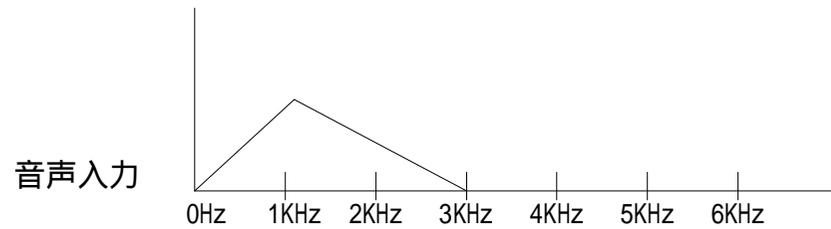


## NTS-200, NTS-700 SSBジェネレータの秘密



NTS-200では、21.24MHz、NTS-700は30.41MHzでSSBを生成しています。通常のフィルタタイプSSBジェネレータの場合、この周波数では不要側波帯の抑圧が難しく、10MHz程度までが限界です。

そこで、音声周波数反転(スクランブラー)のICを使用すると、キャリア印と不要側波帯の周波数間隔が広げられることを利用します。

左図のように、通常キャリア印は数百Hz以内ですがこの方法により1.7kHz以上になります。(反転ICのクロック周波数を高めにするのがミソ)

不要側波帯は、3.4kHz以上離れることとなりますから、20~30MHzにおいてもフィルタタイプSSBを容易に生成できることとなります。

(CQ誌1992年11月号 P274 参照)